

なし黒星病の感染が早くなる予想

～発芽2週間後から落花直後の防除が遅れないよう実施してください～

1. 現在までの状況と今後の感染予想

3月23日現在、果樹試験場天王分場（潟上市）におけるなし‘幸水’の発芽は4月1日で平年より8日早いと予測されている（表-1）。

3月19日に仙台管区地方気象台が発表した1か月予報によると、向こう1か月の気温は高く、期間の前半はかなり高くなる見込みと予報されている。今後、気温が高く推移すると、なしの発芽はさらに早まると予測される。

合わせて、向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予報されており、降雨が続いた場合、子のう胞子の飛散も早まると予想される。

また、前年9月中旬における果そう葉の発病葉率は平年並であったことから、感染量は平年並と予測される。秋型病斑が散見された園地もあったことから、発芽2週間後から落花直後までの防除を適期にかつ確実に実施する必要がある。

2. 防除対策

1) 落葉は一次伝染源となるため、園内に残っている場合は、発芽前までに集めて土中深く埋めるなど適切に処理する。

2) 芽基部病斑（図-1）は見つけ次第切除し、園外へ搬出し処分する。腋花芽利用率の高い園では芽基部病斑が多い傾向があるので注意する。

3) 落葉からの感染防止のため、発芽2週間後にチオノックフロアブル500倍又はトレノックフロアブル500倍液を散布する。

ただし、前年の被害が多かった園地では、ネクスターフロアブル1,500倍又はフルーツセイバー2,000倍液を散布する。これらのSDHI剤を使用する場合は耐性菌出現回避のため、年間の総使用回数は2回以内とし、保護殺菌剤（チオノックフロアブル又はトレノックフロアブル等）を加用する。

4) 開花直前とその7～10日後（落花直後）にEBI剤を散布する際は散布間隔は10日以上空けない。ただし、落花後も発生が多い場合は、落花7日後にもEBI剤を散布する。なお、EBI剤は耐性菌出現回避のため、開花直前と落花直後の2回を基本とし過度な連用は避け、使用する場合は必ず保護殺菌剤を加用する。

5) スピードスプレーヤで防除する場合は、1列おきではなく全列を走行し、かつ低速で丁寧に散布する。薬液のかかりにくい部分に対しては手がけで補正散布する。

3. 資料

表-1 幸水の発芽予測日（果樹試験場天王分場）

予測実施日	3/23以降の気温推移		
	平年+2℃	平年並	平年-2℃
3月23日	3月30日	4月1日	4月4日

※幸水発芽日：（平年 4月9日、前年 4月8日）



図-1 芽基部病斑

表-2 なし黒星病の防除薬剤

分類	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
*	チオノックフロアブル	500倍	発芽2週間後	5回以内	ア
*	トレノックスフロアブル	500倍		5回以内	ア
A	ネクスターフロアブル	1,500倍	発芽2週間後～落花直後	3回以内	3回以内
A	フルーツセイバー	2,000倍		3回以内	3回以内
B	アンビルフロアブル	2,000倍	開花直前、落花直後 (ただし、落花後も発生が多い場合は、 落花1週間後にも散布する。)	3回以内	3回以内
B	トリフミン水和剤	2,000倍		3回以内	3回以内
B	ラリー水和剤	3,000倍		3回以内	3回以内
B	ルビゲン水和剤	3,000倍		3回以内	3回以内
B	オンリーワンフロアブル	4,000倍		3回以内	3回以内
B	サンリット水和剤	4,000倍		3回以内	3回以内
B	スコア顆粒水和剤	4,000倍		3回以内	3回以内
B	インダーフロアブル	8,000倍		3回以内	3回以内
B	マネージDF	8,000倍		3回以内	3回以内
*	チオノックフロアブル	500倍		落花後～5月末に2～3回散布	5回以内
*	トレノックスフロアブル	500倍	5回以内		ア
	ベルクガード水和剤	500倍	4回以内		ア・イ
	デランフロアブル	1,000倍	4回以内		5回以内
	ベルコート水和剤	1,000倍	5回以内		イ
A・C	ナリアWDG※1	2,000倍	3回以内		ウ・エ
C	スクレアフロアブル	2,000倍	落花後～6月中旬に1～2回散布	3回以内	3回以内
	ユニックス顆粒水和剤47※2	2,000倍		3回以内	3回以内
	オキシラン水和剤	600倍	落花後～8月上旬に7～10日ごとに散布	9回以内	オ・カ
	オーソサイド水和剤80	800倍		9回以内	カ

A:SDHI剤 B:EBI剤 C:QoI剤 *同一成分

ア:チウラム(5回以内(休眠期は1回以内)) イ:イミノクタジン(5回以内(塗布剤は2回以内、液剤は1回以内))

ウ:ピラクロストロピン(3回以内) エ:ポスカリド(3回以内)

オ:有機銅(12回以内(塗布は3回以内、散布は9回以内)) カ:キャプタン(9回以内)

※1 ナリアWDGはSDHI剤とQoI剤の混合剤のため、単剤で使用する。

※2 ユニックス顆粒水和剤47は単用せず、主剤に加用して散布する。

注)SDHI剤(分類A)又はEBI剤(分類B)を散布する場合は保護殺菌剤を加用する。

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所	TEL	018-881-3660
秋田県果樹試験場	TEL	0182-25-4224
天王分場班	TEL	018-878-2251
掲載HP https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/		